



ドリカムタイム
子どもたちが植えた
だいこん・にんじん・ほうれんそう



Photo by
Hiroshi Takasugi

“暑かった夏は 自然災害の警鐘らしい”

園長先生も先週まで夏バテで、大切な野菜畑も草だらけです。ようやく元氣を取り戻しましたので、秋冬に向けて花壇や畑の整備をしています。

今年は熊本地震と先日の台風で、すでに二日も臨時休園を致しました。巨大な自然の力の前では、人はいかに小さいか改めて思い知らされました。安全のためとはいえ、ご迷惑をおかけして申し訳ありません。

幼稚園は大きな被害はなかったのですが、台風16号が去った後、電話とインターネットが一時不通となりました。光ファイバーに障害が出たとのことです。科学技術が進み通信機器が高機能になった分、ちよつとしたトラブルで幼稚園の通信手段のほとんどが停止することを経験しました。園児の安全には配慮しているつもりなのですが、まだまだ気が付かないこと、弱いところがあることに反省し、対策を練っています。

ところで、報道でご存知のことと思いますが、災害の程度がどんどん大きくなり、避難を判断する時間的猶予もほとんどなくなりました。ニュースの画像から、特に限られた地域の急な大雨の怖さを痛感します。

対策として、気象庁ホームページの「高解像度降水ナウキャスト」が急速な積乱雲の発達による大雨を予測してくれるので、各自利用してほしいとのこと。狭い地域の急な大雨に関しては各自の情報収集と判断が必要な時代となりました。台風や大雨も夏の猛暑と関係しており、海水温の上昇が原因とのこと。

全世界で温暖化にブレーキをかける話し合いが行われていますが、まだ数年はブレーキの効果は見込まれず、大きな台風や大雨はじめ異常気象は激しくなる予測です。経験に基づく判断も大切ですが、環境が大きく変化した分、予想外の異常気象についても思いをはせる必要が出てきました。

今年の東北や北海道の台風被害は今までにないことでした。福岡県北部の台風被害は今のところ大きくはありませんが、十分注意いたしましょう。また地震に関しても熊本地震からまだ半年しかたつていません。まだまだ油断は禁物です。

幼児教育は安全な環境があつてこそその幼児教育です。9月17日のパズクラブでも、多くのお父様に教室やホールの安全チェックと整備をしていただきました。感謝いたします。これからもご意見ご助力をよろしくお願いいたします。

